

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川ふれあいランド
	所在地	あきる野市小川1343-101
	所管課	環境経済部観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係
指定管理者	名 称	一般社団法人あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市館谷台16番地
	業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の利用等に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 2 環境衛生協力費等の徴収に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者が、施設内に自動車等を乗り入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 3 施設の維持管理に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
	ホームページURL	https://www.akirunokanko.com/?p=3975
	指 定 期 間	平成29年4月1日 ～ 令和2年3月31日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館等日数（日）	308	296	309	261	171
来客者数（人）	約 15,000	11,802	8,555	4,522	3,486
前年度比（人）	400	△3,198	△3,247	△4,033	△1,036
前年度比（％）	102.7	78.7	72.5	52.9	77.1
利用料金等合計（千円）	11,778	9,575	7,530	6,894	5,243
前年度比（千円）	1,082	△2,203	△2,045	△636	△1,651
前年度比（％）	110.1	81.3	78.6	91.6	76.1

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金収入 (売上)	8,942	7,394	5,875	5,352	4,025
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	2,836	2,182	1,655	1,543	1,218
	計	11,778	9,575	7,530	6,894	5,243
支 出	人件費	4,223	4,113	2,833	2,530	1,611
	維持管理経費	1,133	688	1,613	1,175	912
	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	3,409	2,903	2,635	2,617	2,192
	計	8,765	7,705	7,082	6,323	4,715
収支(収入－支出)		3,012	1,870	449	571	528

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
利用者に対し、口頭にて利用状況等を確認している。また、電話等予約の際には、新規利用者かリピーターかの確認と、施設利用に当たっての要望などを聞いている。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
トイレの洋式化要望が多く、できるだけ早急に対応したい。 立った状態でBBQを行いたいとの要望がある。現在の炉は、地面に置くタイプであるため、テーブルの上にその炉を置き使用する客もいるが、危険なため注意喚起している。要望に沿うよう炉に足を付け、使用上危険性がないか検討する。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
小中学校等の課外授業や地域事業の受入れを実施している。また、施設周辺に食材等の調達店舗がないため、電話対応時に、観光協会会員店や食材・飲み物の配達サービス店舗を紹介するなど、利用者のサービス向上に努めている。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
業務に支障のない範囲で節電、節水に努めている。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
<p>学生グループなどのリピーターが多いが、20～30人規模の会社など団体利用客が今期は来園しなかったことなど、年々リピーターの減少を感じている。また、土日祝日に集中して来園していたが、平日に分散したように感じられる。</p> <p>繁忙期には、利用者の事故防止を念頭に、昨年と同様に、遊泳の注意喚起看板や救助用浮き輪・ライフジャケットの設置、監視員を配置するなどの安全対策を講じた。今後も、事故防止と施設整備に注意を払うとともに、来園者一人一人を大切に施設運営に努めてゆく。</p> <p>台風19号により河川が氾濫し、甚大な被害を受けたため、10月から年度末まで閉園となった。自然環境を保全するために管理運営しているが、自然の猛威にはすべもなく、施設を復旧しなければ開園できないなど、時間と労力と資金を今後どのように準備しなくてはならないのか検討すべきと考えている。</p>

全般的に利用者数が減少しており、色々な視点から、利用者ニーズに合った施設機能や利用形態などの改革、サービスの改善やPR方法などを検討し、他の場所と差別化した求められる公園（観光施設）を模索していく必要性を感じている。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
利用者に対する事故・トラブル防止のための注意喚起、地域行事へ施設を貸し出すなど、利用者及び近隣住民等に配慮し、サービスの向上に取り組んでいる。	
経費削減の取組	
利用者に配慮しながら、節電及び節水に努め、経費削減が図られている。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
10月から台風被害により休園となっている中、収支状況が安定していたことは評価する。近年、利用者数等が減少傾向にあるため、利用者確保の対策を検討してもらいたい。また、事故・トラブル等がないよう、安全対策にはさらに注力して取り組んでもらいたい。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。